

卒業生就職先アンケート報告～社会が獣医学教育に求める人材

2024年度共同獣医学課程合同QA委員会

2024年度に、共同獣医学課程における獣医学教育のさらなる改善と質の高い卒業生の輩出を目的として、2018年度から2022年度に北大及び帯畜大を卒業した学生の就職先を対象としたアンケート調査を実施いたしました。211件の企業・団体に依頼し、71件からご回答をいただき、多くの方にご協力をいただきましたことお礼を申し上げます(図1)。前回の2019年度調査と比較し、対象卒業年度が1年間から5年間に拡大しましたが、回答方法が紙媒体からGoogleフォームに変更されたことで、より円滑にデータを収集することができました。

主な調査結果

- 1. 回答企業等の業種と従業員数の変化** 今回の調査では、就職先として「個人診療施設」が36%と最も多く、次いで「民間企業」が22.5%でした。前回の調査と比較すると、北海道NOSAIが1団体となったことによる「農業共済組合」の割合の減少が影響しました。また、前回よりも従業員規模の大きい中・大企業が増えていました(図1)。
- 2. 求められる「社会人基礎能力」** 今回の調査で、就職先が卒業生に特に求めている能力・資質として、「主体性」「実行力」「課題発見力」が上位に挙げられました。中でも「主体性」は62%と非常に高くなっていました。
- 3. コミュニケーション能力の重要性の高まり** アンケートの自由記述欄や、求められる人材・カリキュラムに関するキーワードの回答から、「コミュニケーション能力」が強く求められていることが判明しました。回答には、「技術的な事項以上に、コミュニケーション能力、行動力、適応力が臨床獣医師にとって重要である」という意見や、上司や関係者、農家さんなどと良好な関係を築くための「コミュニケーション力」を求める声が多数寄せられました。円滑な業務遂行やチーム医療における連携のためにも不可欠な能力だと認識され、就職先から求められる人材のキーワードとして「コミュニケーション能力」が非常に多くあげられました(図2, 3, 4)。

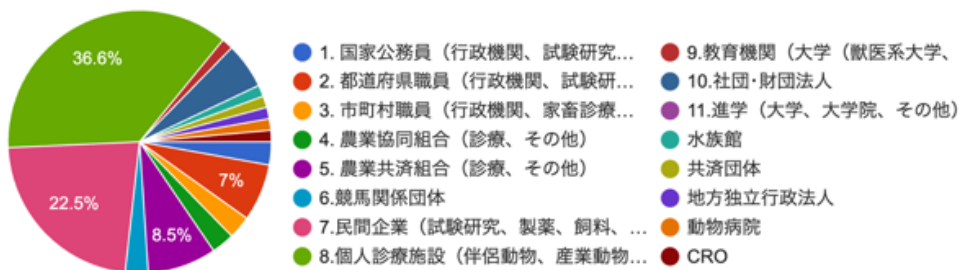
総括と今後の課題

今回の調査では、卒業生が身につけている知識や技能に対してまずまずの評価を得た一方で、「働きかけ力」や「傾聴力」「状況把握力」といったコミュニケーション系の能力・資質の向上を求める就職先が多数存在することが示されました。獣医師としての専門知識や技能はもちろん重要ですが、それらを活用して社会で活躍するためには、コミュニケーション能力が不可欠であるという就職先からの強いメッセージを受け取ることができました。今後は、この調査結果を踏まえ、カリキュラムの改善や教員の意識向上、就職支援の強化が必要であり、以下の点に取り組むべきと考えられます。

- 1. コミュニケーション能力の育成強化:** 知識や技能の習得に加え、チーム医療や対人関係構築に必要なコミュニケーション能力を育む教育プログラムの充実。
- 2. 主体性・向上心の醸成:** 自ら課題を見つけ、解決する主体性や向上心を持つ人材を育成するための課題研究の強化。
- 3. 就職支援の充実:** 卒業生が就職先のイメージと現実のギャップを埋められるよう、企業・団体との連携強化、就職説明会やインターンシップのさらなる充実。

本報告を契機として、学生への教育やキャリア支援をさらに発展させていきたいと存じます。学生のみなさんにも、コミュニケーション能力の向上を特に意識して学生生活を送られることを期待します。

業種



従業員・職員数

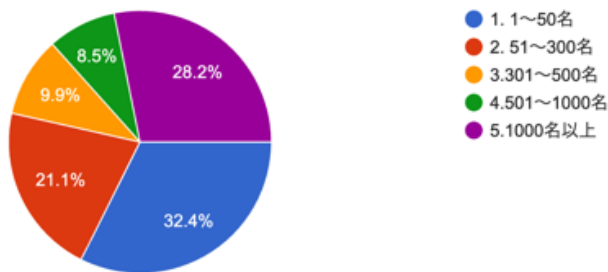


図1 回答された就職先の業種と従業員数規模

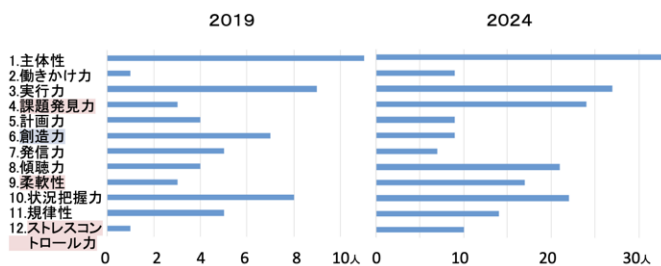


図2 「能力・資質のうちで重要だと考えるもの」 (重要なもの3つ) の前回比較

課題発見力、柔軟性、ストレスコントロール力 ↑ 創造力 ↓

- | | |
|---------------|---------|
| • コミュニケーション能力 | • 問題解決力 |
| • 向上心 | • 探求心 |
| • 協調性 | • 責任感 |
| • 知識・能力 | • 使命感 |
| • 素直さ | • 情熱 |
| • 状況判断能力 | • 人間性 |
| • 行動力 | • 積極性 |
| • 適応力 | • 臨機応変さ |
| • 倫理観 | • 規律性 |
| • 誠実さ | • 飼育経験 |

図3 就職先から求められた資質 (自由記載) のキーワード

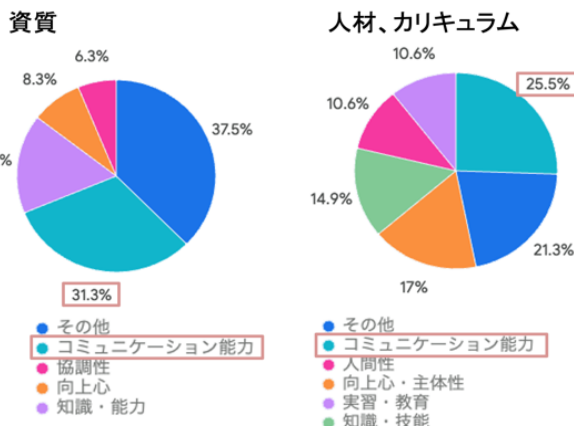


図4 求められた資質、人材、カリキュラム (自由記載) の各要素の頻度